



# かかやく子ども

～自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもを育てる学校～

## 新しい年度がスタートしました。

4月9日の集団登校は、いつもより早く学校に到着したと思います。昇降口付近に貼りだされた新学年の学級別名簿から自分の学級を確認し、だれと同じ組であったかを凝視している姿は、年度当初の光景かも知れません。進級した新しい学年で、新しい友だちとともに、1年間よりよい学校生活を送ってくれることを楽しみにしています。

## ★『始業式』で伝えたこと。「学校」って何をするとおところですか？

始業式では、まず1学年進級したことを伝え、1年間、

**げんき・えがお**で登校してほしい。そして**毎日・やるき**を持って登校してほしいと伝えました。

ところで、新1年生から、「学校は、何をするとおところですか？」と質問されたら、新2年生～新6年生のみなさんなら、どのように答えますか？と質問もしました。いろいろな答え方があると思いますが、三つの視点で、学校でのやるべきことを話しました。



- ◎学校は、勉強するところとてす。
- ◎学校は、運動する（体づくりをする）ところとてす。
- ◎学校は、友だちをつくるところとてす。

「げんき」「えがお」で登校し、「勉強（知育）」「運動（体育）」「友だちづくり（徳育）」の中で、「やってみる」を合言葉に、チャレンジできる「老西の子」になってほしいと思っています。

## 新1年生が、少しでも早く学校に慣れてほしい。

新1年生114名が入学して2週間が経ちました。就学前では年長さんであった子どもが、小学校では一番下の学年として学校生活が始まっています。新しい友だちや新しい先生の顔と名前を覚えるのはたいへんです。ランリュックを背負いながら集団登校



をしたり、友だちと一緒に下校したりすることも、今まで経験したことはありません。大きな校舎の部屋を覚え、チャイムを気にして行動することも初めてです。教科書を使っての学習も、始まっています。今までは環境も生活も違った小学校という場で1日ががんばった子どもに、笑顔で接し励ましを送り続ける保護者であってほしいと願っています。そのことが明日への活力となり、学校生活への慣れにつながることでと思います。

《6年生代表歓迎の言葉》

# 「あいさつ」が、できる子に…「あいさつ」は、生き方の基礎・基本

朝、子どもたちの集団登校を南門・北門で迎え、「おはようございます。」のあいさつを交わしています。次の点で、嬉しさを感じています。

- ◎ 大きな声であいさつできる子の割合が、とても多いこと。
- ◎ 自分から、すすんであいさつできる子が、とても多いこと。
- ◎ 登校班の上学年の子が、下学年の子に「あいさつしいや。」と指導する姿があったこと。一方、気になる姿を見たり聞いたりすることもあります。

- ▲ 「おはようございます。」と声をかけても、あいさつが返ってこない子がいること。
- ▲ 上学年の子があいさつできる登校班は、どちらかといえばあいさつができる子が多いが、上学年の子があいさつできない登校班は、あいさつできない雰囲気をつくってしまうこと。
- ▲ 保護者や地域の方から、「あいさつが、できていない。」と指摘を受けることがあったこと。

入学式の式辞の中で、新1年生の子どもたちに「あいさつできる子に、なってください。」と話しました。あいさつを交わすことができると「うれしさ」や「温かさ」を感じ、あいさつしても返ってこなかったら「さびしさ」・「冷たさ」を感じます。つまり、あいさつは人と人とをつなぐ言葉だということです。

また、子どもたちが大人になっていく過程を想像してみましょう。中学校やもしその先の学校に進学していったら、先輩と後輩の関係の中で、生徒（学生）同士のあいさつは、小学校以上に厳しいものがあるかも知れません。もっとその先の就職を考えた時、あいさつはあたり前のことで、どれだけ真心がこもっているかを求められるかも知れません。こんなことを考えると、小学校での国語科や算数科等の学習と同じように、小学校でのあいさつは、生き方の基礎・基本を築くものとして指導しなければならないであるということができます。

「あいさつ」の指導は、学校教育・家庭教育あるいは地域力の中で、育まなければならないと思っています。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」などのあいさつは、人と人とをつなぎ、将来を見据えた生き方の基礎・基本であることを共通理解しながら、学校では指導していきます。ご家庭におかれましても、わが子の将来像を展望しながら「あいさつ」の指導をしていただき、家族や親戚の中で、あるいは身近な地域の中で、「あいさつ」することがあたりまえの子になるよう、声掛けと見守りをよろしくお願いします。



「スクールガード」のみなさん、いつもありがとうございます。

子どもたちの登下校に、保護者の皆様方や地域の皆様方が、スクールガードとして子どもたちを交通事故や不審者から、守っていただいています。本当に、ありがとうございます。そのすべての皆様方に、お礼を申し上げますと同時に、今後とも、よろしく願い申し上げます。